

令和4年度「山形学」第5回講座 実施報告書(HP版)

- ◆日時：10月23日(日) 13:30～16:20
- ◆会場：遊学館3階第1研修室
- ◆テーマ：大テーマ「食」をめぐる山形の地域課題
第5回テーマ「活かす場からみる社会の変化」
- ◆趣旨：食を通じて「山形」という地域に向き合い、どのように暮らしていくのか、若い世代のいくつかの提案に照射し、そこに曙光を見いだす。
- ◆内容：講師：庄内農業高等学校農業部加工班(通称うどん部)さん
講師：長南みゆき氏(day by day 店主)
講師：佐藤 智也氏(Gozzo 山形 代表)
コーディネーター：廣瀬隆人氏(「山形学」企画委員)
企画委員 参加：菊地氏・本田氏・松尾氏・小林氏・中川氏

◆プログラム

13	:	30	開講、コーディネーター趣旨、進行、講師紹介
13	:	35	【1部 事例発表】
13	:	35	庄内農業高等学校農業部加工班(通称うどん部)さん 講話
14	:	10	長南みゆき氏 講話
14	:	40	佐藤 智也氏 講話
15	:	25	休憩(10分間・質問票回収)
15	:	35	質疑応答
15	:	55	廣瀬コーディネーターまとめ
16	:	00	講座 終了
16	:	05	閉講式
16	:	20	閉会

- ◆参加者数：24名
- ◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会
- ◆当日の様子

第5回講座では、山形の食の地域課題と解決策を、庄農生、長南氏、佐藤氏の取り組みから考えました。

庄内農業高校の通称うどん部の生徒さんたちは、4年目を迎えた活動<庄農うどん大作戦!>についてわかりやすい資料や写真を用いて、堂々と発表。生き生きと楽しそうに活動する様子は画像からも伝わってきました。この取り組みは、学校と地域(商工会等)が連携して高校生の活動をサポートし、おいしいうどんを作るだけでなく、職業体験として、実際にお店に入り自分たちが作ったうどんを調理、販売し接客を行うもので、生徒たちは、お店や商工会の方々から色々なアドバイスをもらい、来店者層を分析することによりお客のニーズを吸い上げたり、プロから効果的なポップの作り方を学んだり、接客をとおして地域の方々と触れ合うなど、一生懸命努力している姿が伝わってきました。地域の高校生を応援しようとする多くの方が来店し、お店の売上UP、地域経済にも貢献し、地域の活性化にもつながっていると紹介していただきました。生徒自身も成長でき、お店も、地域も皆が幸せになれる素晴らしい取り組みだと感じました。当日会場では庄農生が一人ひとりに手作りのうどんをプレゼントし、受講生は目を細めて喜んでいました。顧問の先生の『うどんは教材である』という指導は、確実に生徒を逞しく立派な人材に育てあげているように感じました。

長南みゆき氏は、都会で体を壊したことをきっかけに、地元で獲れる旬の野菜を使った庄内の伝統的な郷土料理を食べてもらいたいと酒田でお店を始めたこと、食事の大切さを自身の体験をもとに語ってくださいました。地域の慣れ親しんだ味、昔から食べてられてきた地元の食材や料理が、心と体を元気にしてくれること、日々の食事を大切にしていきたいと改めて長南さんのお話から気づきを与えられました。手軽さ、入手しやすさ、価格だけを追い求め、コンビニ弁当やスーパーのお惣菜や半調理品に逃げがちになる、とかく忙しい現代人が抱える「食」の課題を考えさせられる貴重な講話でした。おなかを満たすだけではない、真においしい食事とは何か、次世代に郷土料理、在来野菜を継

承できるのか、今問われているように感じました。

佐藤智也氏は、これまで山形の食に関わる若者らしいインパクトのある企画やイベントを数多く開催し、ハイセンスでおしゃれな紙面のフリーマガジンを発刊するなど、豊かな山形の食を広くPRしてきた実績を紹介。これらの多彩な取り組みがきっかけとなって、山形の食の豊かさを県民自身が気づき誇りに思うようになったのだと感じました。現在はインターネットやSNSの普及で常に画面越しに見ていて、身近な現実世界（地域社会）の変化に気づきにくくなっていると指摘。昔ながらの地域の良さや価値がいつの間にか消失していることに気づくことになって、失くしたものは取り戻せない。外側にばかり目がいて足元が見えない状態であると警鐘を鳴らしました。それゆえ山形県の在来作物「蔵王かぼちゃ」を守り育てる意味を表現したミュージカルを今秋に開催することをとおして、地域の価値を次の世代に繋いでいきたいと抱負を述べました。

若者の取り組みや講話から山形の食の大切さと奥深さを知るとともに、食文化に興味関心を高めることができました。地域との関り方や消えゆく在来作物や地元の郷土料理をどう守っていくのか、どう次代に繋げていけるのか山形が抱える課題を考える大変有意義な講座となりました。

参加者の声

- ・庄農生が胸を張って発言、発表をしている姿を見て、大変頼もしく感じました。活動内容もわかりやすかったです。
- ・新鮮な発表に満足しました。視点の違いから多くの刺激を受け、楽しかったです。
- ・うどんをプレゼントしていただき、うれしかったです。
家でゆっくりと味わいたいです。ありがとうございました。
- ・高校生に感動！今どきの若者はすごいなあと思いました。うどんをもらえてうれしい！！酒田に行ったら「日ごと」に寄りたいと思いました。
- ・長南さんの講話を聞いて食に対する見方が変わりました。
- ・うどんは教材！感動しました。
- ・庄農うどんで地域活性！素晴らしいですネ。2021年県民活躍大賞受賞！おめでとうございます。
- ・庄内農高の生徒さんたちの頑張りに未来を感じました。
- ・庄内の頑張っている取組が知れて良かったです。特に庄農の生徒達の将来が楽しみでもあり、応援したく又、昔からの料理を大切にすることは、体を大切にすることにつながる事を実感している話が良かったです
- ・地域との関わり方や文化の伝え方を新しく知ることができました
- ・佐藤智也さんが企画するイベントは素晴らしいと思いました。

○当日の様子
会場の様子



廣瀬コーディネーター



庄内農業高校 うどん部の皆さん



受講生へプレゼント



打ちたてのうどん



長南講師



佐藤講師



閉講式



修了生代表：宮地藍さん



企画委員



菊地企画委員長あいさつ

